

【禁忌・禁止】

- ・パラフィン以外は使用しない。

【形状・構造及び原理等】

【各部の名称】



【作動・動作原理】

通電が開始されると、装置内部のヒーターによってパラフィン槽内のパラフィンが設定温度に保たれる。

【仕様等】

型式：PB-150

本体寸法：272(W)×345(D)×150(H) mm（取っ手は除く）

本体質量：約4.1kg

温度調節精度：±3℃

※ただし設定温度が40～70℃の範囲で室温25℃の場合

温度調節器：バイメタル式

電氣的定格

電圧：AC100V ±10%

周波数：50/60Hz

消費電力：180VA

【設置環境】

- ・温度 10～40℃
- ・湿度 30～85%RH（結露なきこと）
- ・大気圧 70～106kPa
- ・通風・換気が良く、チリ・ホコリが少なく、振動の少ない所に、水平でガタツキの無いように設置する。

【使用目的又は効果】

検体前処理装置

自動固定包埋装置のパラフィン浸透終了後の検体に、パラフィン浸透の追加処理や包埋作業時の検体の保管を行う装置。

【使用方法等】

【必要とする設備】

電源設備

容量：2.0A以上

接地端子：D種以上

【使用方法】

以下の手順の詳細は取扱操作説明書の第2章をご参照ください。

- ① パラフィン槽に溶融パラフィンを入れる。
- ② 電源コードを接続する。
- ③ 30～60分放置し、パラフィンの温度が一定になるのを待つ。（工場出荷時の温度設定は62～65℃）
- ④ 検体を入れ、包埋作業を行う。
- ⑤ 作業終了後は、電源プラグをコンセントから抜き取り、パラフィンが冷えて固形状になってから、ヘラでパラフィンを取り出す。取出しが困難な場合は、電源コードを接続して周囲のパラフィンを溶解させてから取り出す。

【使用上の注意】

詳細は取扱操作説明書の第1章および第2章をご参照ください。

- ・パラフィン槽内は高温になるため、やけどに注意。
- ・装置の周囲は常に清潔に保ち、電源コードなどに付着したパラフィンは取り除く。
- ・パラフィン槽の腐食の原因になるため、パラフィン以外はパラフィン槽内に入れない。
- ・パラフィンをあふれさせたりこぼしたりして、温度設定部付近に付着させないようにする。
- ・動作異常時は電源を切る。
- ・電源プラグは接地端子付コンセントに接続する、または接地アダプターなどで必ず接地を行なうこと。
- ・お手入れの際は電源プラグをコンセントから抜く。
- ・装置の定期点検を6ヶ月ごとに行う。
- ・装置のフタの上には物を置かない。
- ・装置の周囲は適切なスペースを設ける。
- ・パラフィン槽にパラフィンを入れないでコンセントを差し込まない。（空焚きしない。）
- ・パラフィン槽は水洗いしない。
- ・パラフィン槽には75℃以下のパラフィンを入れる。

【保管方法及び有効期間等】

***【耐用期間】**

耐用期間：製造出荷後 8年[自己認証(当社データ)による]

条件：取扱操作説明書及び添付文書に記載された取扱注意事項あるいは保守・点検に係る事項を順守し、定期的に日常点検・保守点検を実施すること。
点検結果により、下記に示す主要な構成部品や保守点検事項に記載された交換部品を適切に交換すること。保守に用いる主要な構成部品は下表の通り。

主要な構成部品名	使用耐用年数
温度調節器	5年
ヒーター	8年

※ここに記載した装置の耐用期間及び主要な構成部品の使用耐用年数は保証期間ではなく、上記の条件を満たした場合での平均的な年数となるため、使用環境、使用方法などにより異なります。

取扱操作説明書を必ずご参照ください。

【保守・点検に係る事項】

[使用者による保守点検事項]

詳細は取扱操作説明書の第3章をご参照ください。

- ・ 特になし

[業者による保守点検事項]

- ・ 特になし

【製造販売業者及び製造業者等の氏名又は名称等】

製造販売業者

名 称：サクラ精機株式会社
電話番号：026-272-8381

製造業者

名 称：サクラ精機株式会社 長野本社工場

販売業者

名 称：サクラファインテックジャパン株式会社
住 所：東京都中央区日本橋本町3-1-9
電話番号：03-5643-2630（営業窓口）
機器の故障に関するお問合せ先：0120-392-874
（フリーダイヤル）